

緑の少年団の活動

緑の少年団の活動は、学習活動、奉仕活動、レクリエーション活動の3つに大別されます。英気を養い、体力をつくり、団結と協調の精神を育てるうえで、大切な活動となっています。



学習活動

学習活動では、団員の学力、年齢などに応じて展開されており、緑や森林の働きの学習、緑を守る学習、自然のなかの鳥獣・昆虫などの観察・愛護の学習などから緑や森林を守ることの大切さを学んでいきます。



森を育てる学習



自然学習



木工教室



奉仕活動

奉仕活動は、汗を流すことの尊さ、社会の一員としての自覚を養うためにも、大切な活動です。地域の状況、団員の構成、その他により自主的な活動として、緑の羽根募金運動への協力、緑化行事への参加、公園・緑地帯の清掃、パトロール、標示板の設置や取り替えなどがとりあげられています。



緑の羽根募金



植樹風景



清掃風景



レクリエーション活動

レクリエーション活動では、ハイキングやキャンプなどが一般におこなわれていますが、子供たちにとって最も楽しい時間。明るい笑顔、はつらつとした姿にも集団活動をとおして培われた団結と協調の精神がうかがえます。



キャンプ



食事風景



ツリークライミング

全国規模・ブロック規模の活動

毎年開催されている全国植樹祭・全国育樹祭・緑の感謝祭において、各旗入場、苗木贈呈、天皇后陛下のお手植え・皇族殿下によるお手入れの介添え等、重要な役割を担います。優れた活動を行った団は、式典の中で全国の緑の少年団を代表して活動を紹介します。全国で開催される緑化行事でも、緑の少年団が活躍をします。



全国植樹祭等での活躍



お手植え



お手まき



国旗掲揚



全国緑の少年団活動発表大会



みどりの奨励賞受賞団体



ブロック交流会



東海三県下のみどりの少年団(隊)が集い、自然の中で野外活動を通じて、緑の大切さを学び、規律・協同・奉仕の心を養い、自らの社会を愛する心豊かな少年少女を育成するため、昭和51年より毎年開催しています。

緑の少年団の育成



育成会

育成会は、少年団員の父母をはじめ、地域や学校などの賛同者によって構成され、物心両面で少年団の育成と活動を支援しています。



協力機関

都道府県、緑化推進委員会、市町村、小・中学校、PTA、森林組合、森林管理局・署、その他。



安全会

活動中に不幸にして事故があったときの補償制度として、国土緑化推進機構内に「緑の少年団安全会」を設けています。



助成

全国緑の少年団連盟では地域単位で活動している緑の少年団等を主な対象として、学習活動等の充実、地域との連携強化の事業に対し助成しています。(助成額1団体30万円を限度)

